

☆☆☆ 朝 礼 講 話 ☆☆☆

11月22日(木)

「正しい行動をするために」「人を助けるために」

必要なものは『勇気』

講話 3年担任 井戸田 友博

今から2つの話をした後、2つの質問をします。2つの質問の答えは同じなので、よく聞いて考えてみてください。

ひとつめは、ある劇場（音楽の演奏や劇を見られる場所です）で起こった話です。その日はオーケストラの演奏があり、劇場にはとても多くの人が入っていました。演奏は何事もなく進んでいきましたが、途中で誰かが「地震だ！」と叫びました。確かに少し揺れている感じがします。この時、誰もが避難しよう



と考えますね。劇場には出口がたくさんありました。さあ、この後、どうやって避難したと思いますか？
——なんと、最初に出て行った人と同じ出口にたくさんの方が集まり、同じ場所から出ていこうとしたのです。他にも出口があったのに、ですよ？変だと思いませんか？もしかかもしれませんが、人は、誰かがやっていたこと、多くの人をしていた行動と同じ行動を取ろうとします。きっと、「間違ってるのかな？」「同じことをやった方がいいのかな？」「違うことをやっていると、恥ずかしいな」と思うからでしょうね。ですが、この話の通りなら、多くの方がしてはいけないことをしている時、自分も同じようにしてはいけないことをしてもいいのでしょうか？

——答えはそうじゃないですね。

さて、ここで質問その1。正しいと思うことをしようとするとき、何が必要になるでしょう？

次の話は、人助けについての話です。外国でこんな実験が行われました。人がたくさん通る大通りで、調子の悪くなった人が急に倒れます。もちろん、実験なので演技ですが。この時どれだけの人が倒れた人に声をかけたり、助けようとしたりしたのか、調べようとしたのです。実験の結果は、何と10人に1人しか、倒れた人を助けようとはしなかったんですね。この時、何もせずに通ら過ぎた人は何を思ったでしょう？——「自分が助けなくても、きっと他の人が助けるだろう」「めんどろなことに巻き込まれたくないな」「助けると、他の人が見るから恥ずかしいな」こんなことを思ったかもし



れないですね。ですが、もし本当に困っている人がいたり、こんな風に倒れる人がいたりしたら、放ったらかしでいいのでしょうか？——この答えもそうじゃないですね。

では、ここで質問その2。困っている人を助ける時、何が必要になるでしょう？

2つの質問をしましたが、正解はどちらも『勇氣』です。話を聞いて、「正しいことをしたいけれど……」「困っている友だちを助けたいけれど……」とちょっと迷った経験を思い出した子もいると思います。そんな時は、『勇氣』をもって、思い切ってやってみたらどうでしょう？感謝されればきっと気持ちがいいですし、迷ってた気持ちもきっとスッキリするんじゃないでしょうか？これからも迷うことは多いと思います。そんなときは、この『勇氣』を思い出すといいですね。

学芸会の参観

ありがとうございました

18日（日）の学芸会当日、子どもたちは大勢の観客の前で、一人一人が主役としてがんばることができました。今年の学芸会のテーマ『みんな輝け めざすは最高の学芸会』を本番の舞台上で表現できたと思います。多くの方にご参観いただき、ありがとうございました。

